

国家試験対策

たねいちひろこ
社会福祉学科 助手 種市寛子



現在、本学は社会福祉士が74.4%、精神保健福祉士が100%と高い合格率となっています(平成21年度)。この高い合格率を生んでいる要素には、社会福祉学科が行っている「国家試験対策」があります。

社会福祉学科では、例年「国家試験受験体験報告会」を実施し、国家試験に合格した先輩から後輩へ、勉強の仕方、準備の仕方など自身の経験を伝えるという普段は持てない機会をつくっています。

先輩からの体験報告を聞くことによって、勉強方法や使用した資料・参考書、受験時の様子などを知ることができ、自身の学習の参考にするとともに、国家試験受験への動機づけになっていると思います。私自身も在学中、この報告会を聞いて新しい勉強方法等を知り、参考にしていました。

そのほか、各ゼミにおける勉強会を行ったり、問題集等を活用できるような環境を整えるなどの取り組みを行っています。また、学科内教員による「国家試験対策委員会」を組織し、さまざまな情報提供、受験手続のチェック、助言指導等、多岐にわたって学生をサポートしています。

社会福祉士国家試験に関しては平成21年度から新しい試験科目が増えておりますが、ぜひこういった取り組みを活用し、国家試験合格を目指していただきたいと思います。

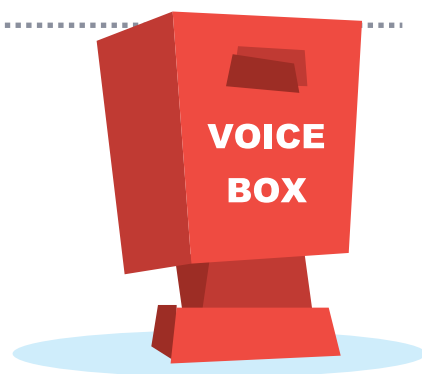
ボイスボックスの投書&回答

意見

学内が寒い。11月に入ったのに暖房が入っていない。
学習できる環境ではなく、体調を崩しかねない。
対策を講じてほしい。

回答

学内が寒かったことに関し、まずはお詫び申し上げます。
本学でのこの冬の暖房稼働については、10月中旬から暖房仕様へ切替し、下旬から試運転を行って参りました。この結果、不具合箇所の点検・調整を経て準備が整いましたので、11月8日から本格的に稼働を開始したところです。なお、学内では、校舎の構造上、場所によって温度環境が異なる場合があることから、防災センターの警備員が、学内の温度巡視測定を適宜行い、より適切な温度設定に努めているところです。



学生の健康情報 ~保健管理委員会からのお知らせ~

今冬はインフルエンザの流行が猛威を振るうことがなく落ち着いた毎日でした。保健室へは予防接種の質問も多くありました。本学では入学時に肝炎・小児感染症(麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎)の抗体検査が義務付けられています。これから職業人として第三者に接する機会が多いので、様々な感染症り患防止の自己管理として、確実に免疫をつけるために実施されています。

今後は新しい感染症が増え、予防接種の改善が考えられます。情報を早くキャッチし、症状は軽度に、できれば発病しないように体調管理をしていきたいと思えます。

